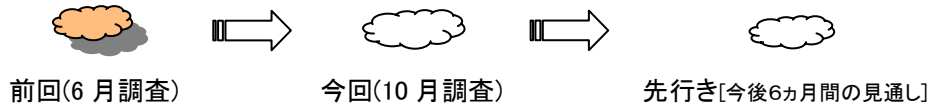




都内企業の景況感

—第110回企業動向調査結果 平成23年10月実施—



◎ 都内の中小企業の景況は改善。先行きは緩やかな持ち直しの動きが続く見通し。

1. 都内中小企業の景況は東日本大震災の影響から徐々に改善し、自社業況判断 DI*は前回の-19.2 から今回-10.4 とマイナス幅が縮小しました。先行きは緩やかに持ち直す動きにあるものの、同DI*はマイナスが続く見通しです。

2. 売上高DI*は-13.8 と改善しましたが、経常利益DI*は-12.4 と悪化しました。売上高DI*、経常利益DI*とも前期に続いてマイナスとなりました。先行きは、両DIとも持ち直す見通しです。

3. 価格DIは、販売価格DIが今回-9.3と上昇したのに対して、仕入れ価格DIは今回 16.4 に低下しました。先行きは、販売価格DI、仕入れ価格DIとも低下の見通しです。

4. 資金需要は、設備資金需要DI*が 2.8 と持ち直し 2008年2月調査以来のプラスになりました。一方、運転資金需要DI*は 4.8 と低下しました。

5. 金融機関借入難易感DIは 16.5 と改善が続きました。資金繰りDIも-2.7と改善しました。

6. 経営上の問題点では、「売上不振」がシェアを 18.1%に低めたものの前回に引き続き第1位となりました。第2位の「同業他社との競合」は 16.9%、第3位の「原材料高・仕入品価格高」は 11.7%と前回よりもシェアを低めました。第4位「取引先からの値引き要請」は 10.0%、第5位の「人材難」は、9.7%と前回に比べてシェアを高めました。第6位「円相場の変動」は 6.5%と、前回の倍以上のシェアとなりました。

(景気指標 DI)	前回	⇒	今回	⇒	先行き
自社業況判断 DI*	-19.2	⇒	-10.4	⇒	-5.1
売上高 DI*	-16.6	⇒	-13.8	⇒	-6.5
経常利益 DI*	-10.7	⇒	-12.4	⇒	-5.8
販売価格 DI	-11.2	⇒	-9.3	⇒	-14.9
仕入れ価格 DI	21.9	⇒	16.4	⇒	14.6
製商品在庫 DI*	-3.8	⇒	-12.4	⇒	...
設備資金需要 DI*	-2.0	⇒	2.8	⇒	2.8
運転資金需要 DI*	8.6	⇒	4.8	⇒	11.6
金融機関借入難易感 DI	11.8	⇒	16.5	⇒	...
資金繰り DI	-4.8	⇒	-2.7	⇒	...

(経営上の問題点)	(前回%)	(今回%)
売上不振	19.1	⇒ 18.1
同業他社との競合	18.2	⇒ 16.9
原材料高・仕入品価格高	12.5	⇒ 11.7
取引先からの値引き要請	9.1	⇒ 10.0
人材難	7.1	⇒ 9.7
円相場変動	3.2	⇒ 6.5
人件費等経費の増加	4.6	⇒ 4.8

1. DI値は、アンケート回答総数を100%とした場合の、「好転」又は「増加」企業割合から「悪化」又は「減少」企業割合を差し引いた数値です。
 2. 天気図は、自社業況判断、売上げ、経常利益、設備資金需要の4指標の平均値(前回 -12.1、今回 -8.5、先行き -3.7)で判断したものの、前回は「曇り」、今回は「うす曇り」、先行きは「うす曇り」。
 3. 季節調整済みの指標には、*マークを添付。原数値の指標にはマークなし。 4. 「先行き」、「見通し」は、今後6ヶ月間の見通し。